

3. サービスの利用人数

(居宅系サービス) ※ ホームヘルプサービス、通所施設、デイサービス、ショートステイ、グループホーム

○ 地域で居宅系サービスを利用する障害者は264,200人。知的障害が最も多く(121,900人:46%)、次いで身体障害(84,900人:32%)、障害児(43,000人:15%)、精神障害(15,000人:6%)となっている。

○ 居宅系サービスの中では、ホームヘルプサービスの利用者が最も多く、106,900人。そのうち身体障害が過半数(56,000人)を占めている。

これに対し、知的障害者は、通所施設・デイサービスを多く利用している(83,300人)。

(居住系サービス)

○ 福祉施設の入所者は141,300人。うち知的障害が約7割(101,800人)を占めている。これに対し、グループホームの利用者は21,800人。うち知的障害が約8割(16,900人)を占めている。

(地域格差)

○ 都道府県別に人口に占めるホームヘルプサービスの利用者数の割合をみると、格差が6.3倍となっている。

○ 都道府県別に人口に占める入所施設の入所者数の割合をみると、格差が4.1倍となっている。

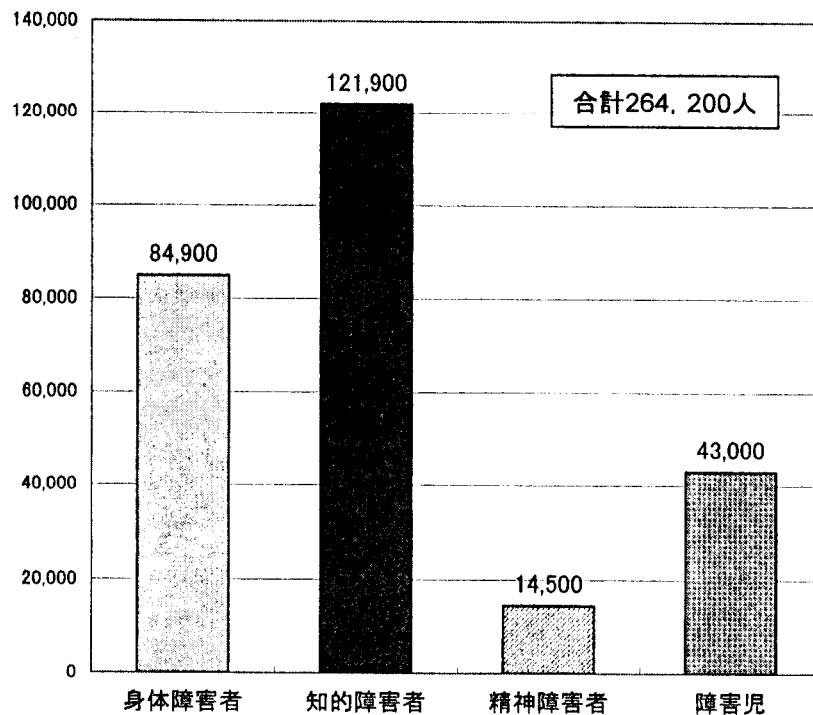
1 居宅系サービス（ホームヘルプサービス、通所施設、デイサービス、ショートステイ、グループホーム）

身障・知的・精神・障害児	264,200人
身体障害者	84,900人
知的障害者	121,900人
精神障害者	14,500人（※）
障害児	43,000人（※）

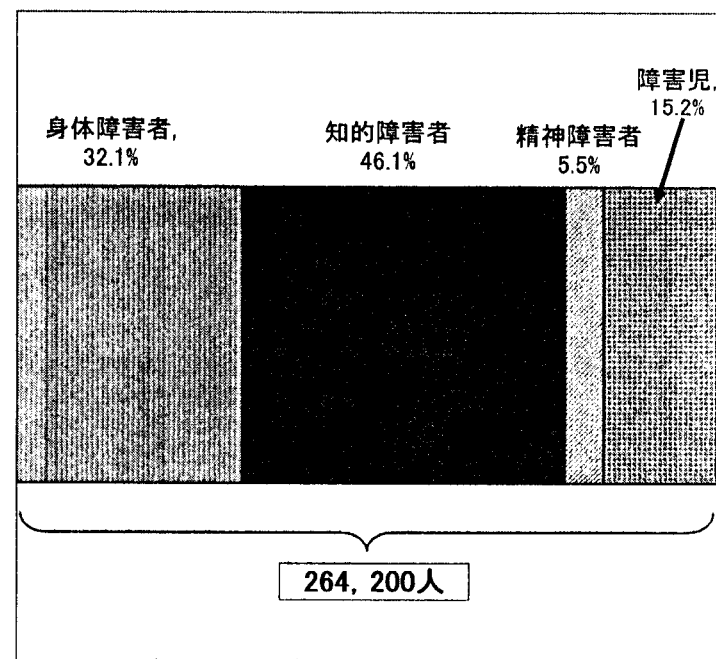
※ 精神障害者及び障害児の場合、通所施設分は含まれていない

(人)

障害別利用人数



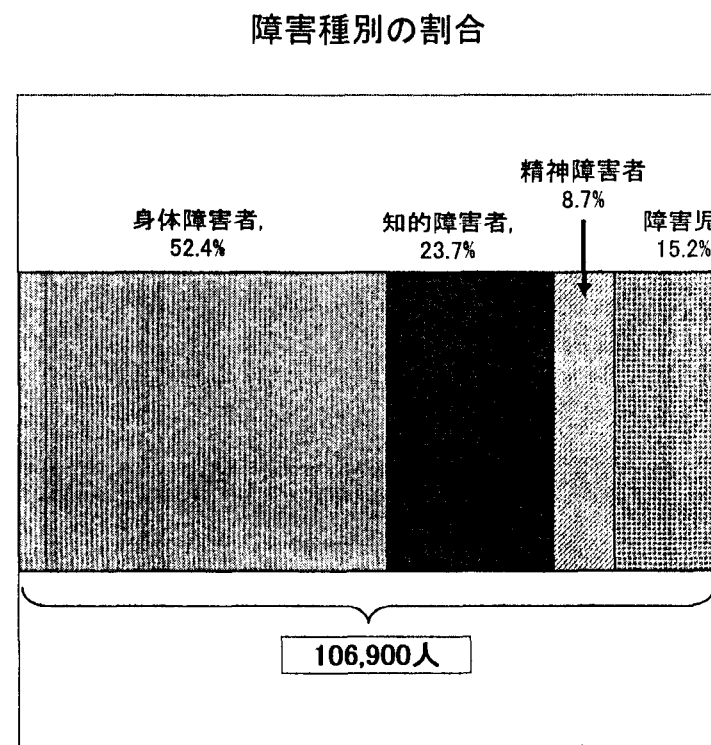
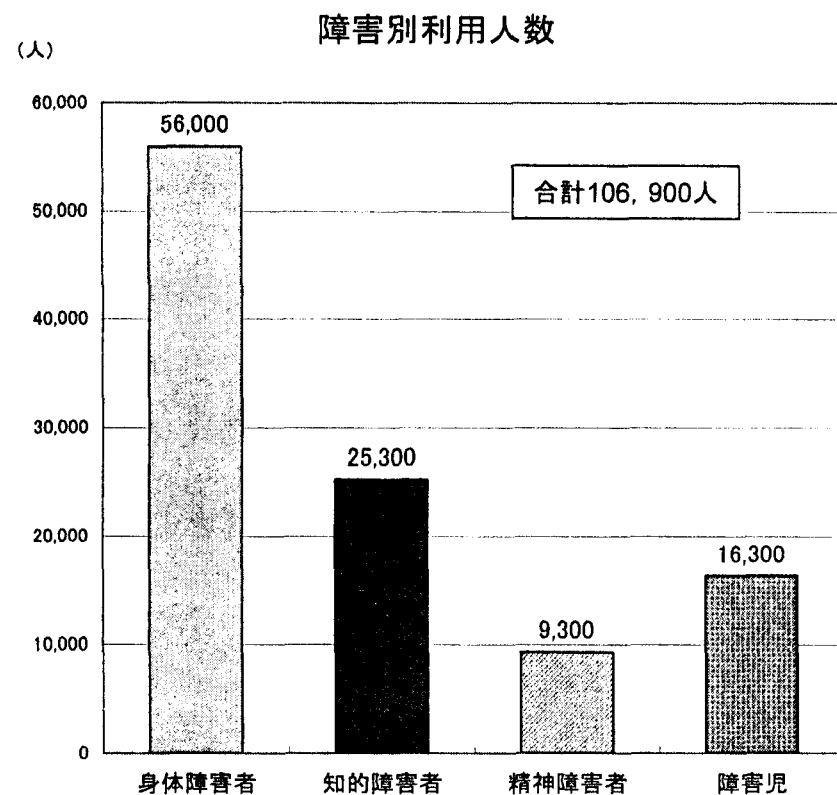
障害種別の割合



2 訪問系サービス

ホームヘルプ

身障・知的・精神・障害児	106,900人
身体障害者	56,000人
知的障害者	25,300人
精神障害者	9,300人
障害児	16,300人



3 通所系サービス

① 通所施設

身障・知的	80,300人
身体障害者	9,200人
知的障害者	71,100人

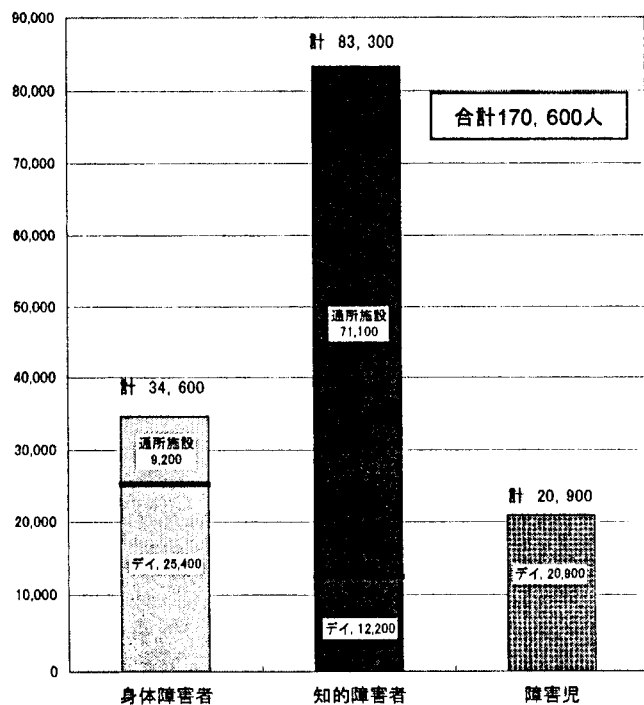
② デイサービス

身障・知的・障害児	58,500人
身体障害者	25,400人
知的障害者	12,200人
障害児	20,900人

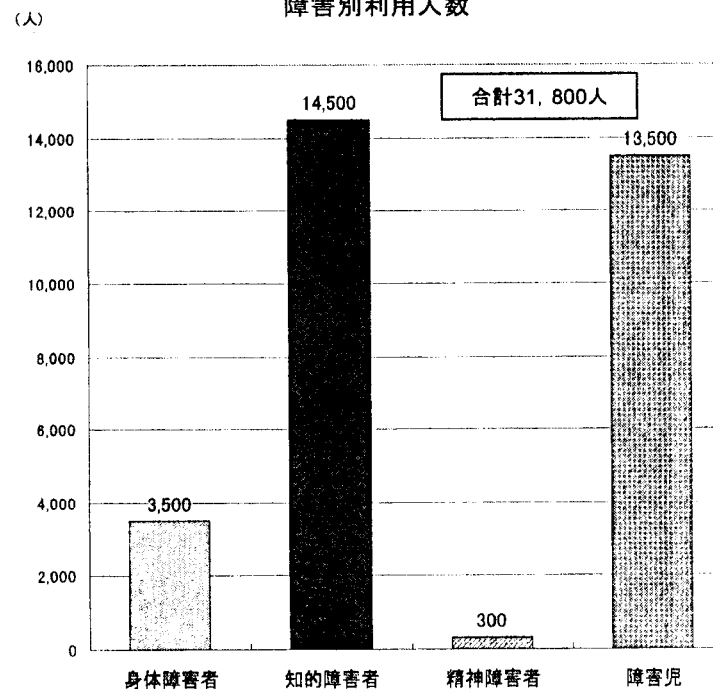
③ ショートステイ

身障・知的・精神・障害児	31,800人
身体障害者	3,500人
知的障害者	14,500人
精神障害者	300人
障害児	13,500人

通所施設・デイサービス
障害別利用人数



ショートステイ
障害別利用人数



4 居住系サービス

① グループホーム

知的・精神	21,800 人
知的障害者	16,900 人
精神障害者	5,000 人

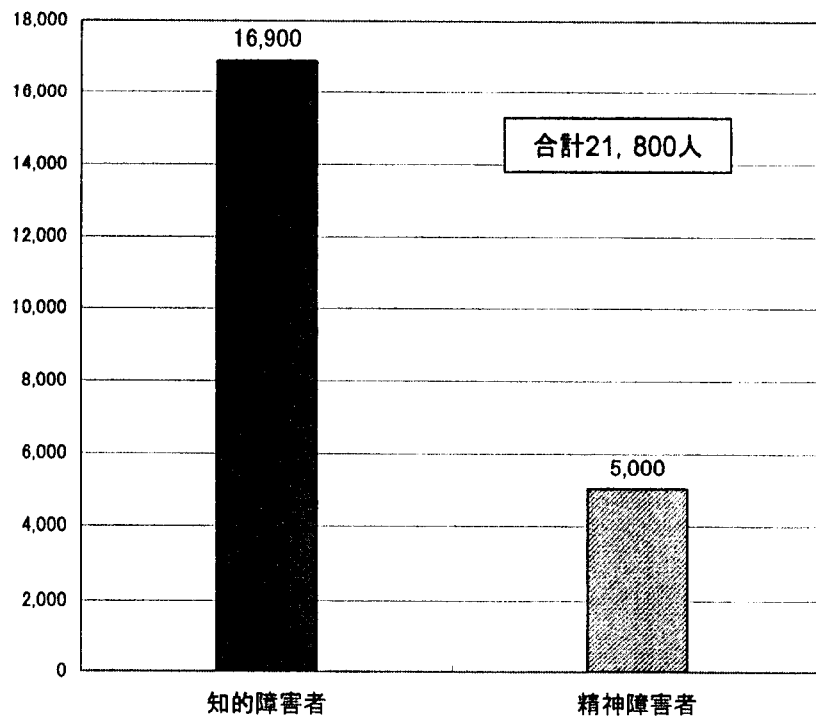
② 入所施設

身障・知的	141,300 人
身体障害者	39,500 人
知的障害者	101,800 人

グループホーム

障害別利用人数

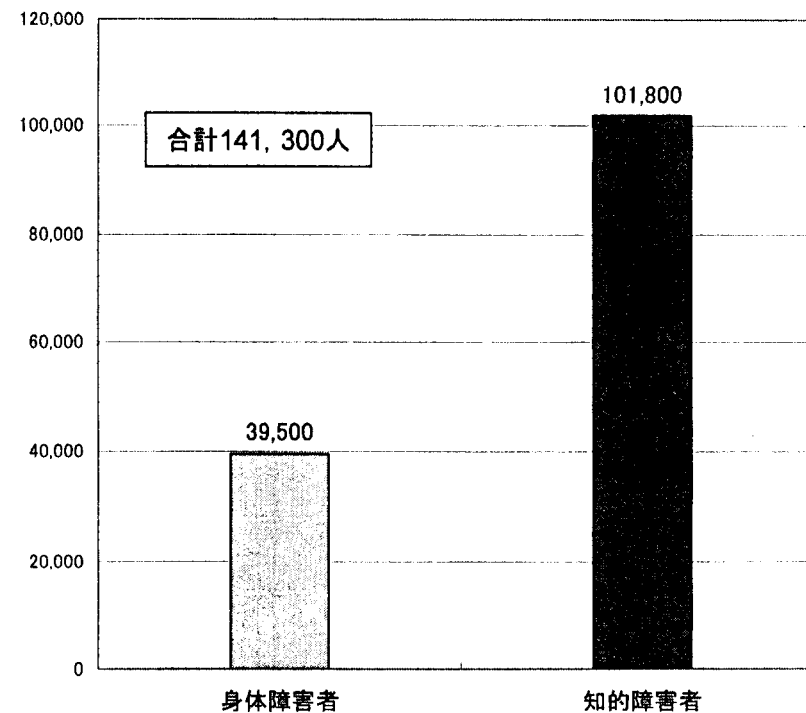
(人)



入所施設

障害別利用人数

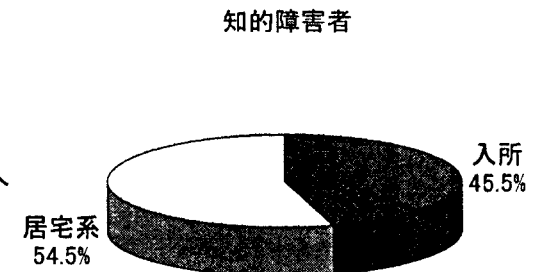
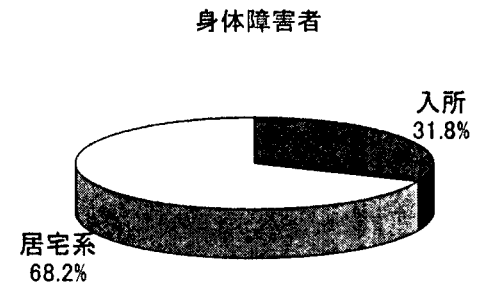
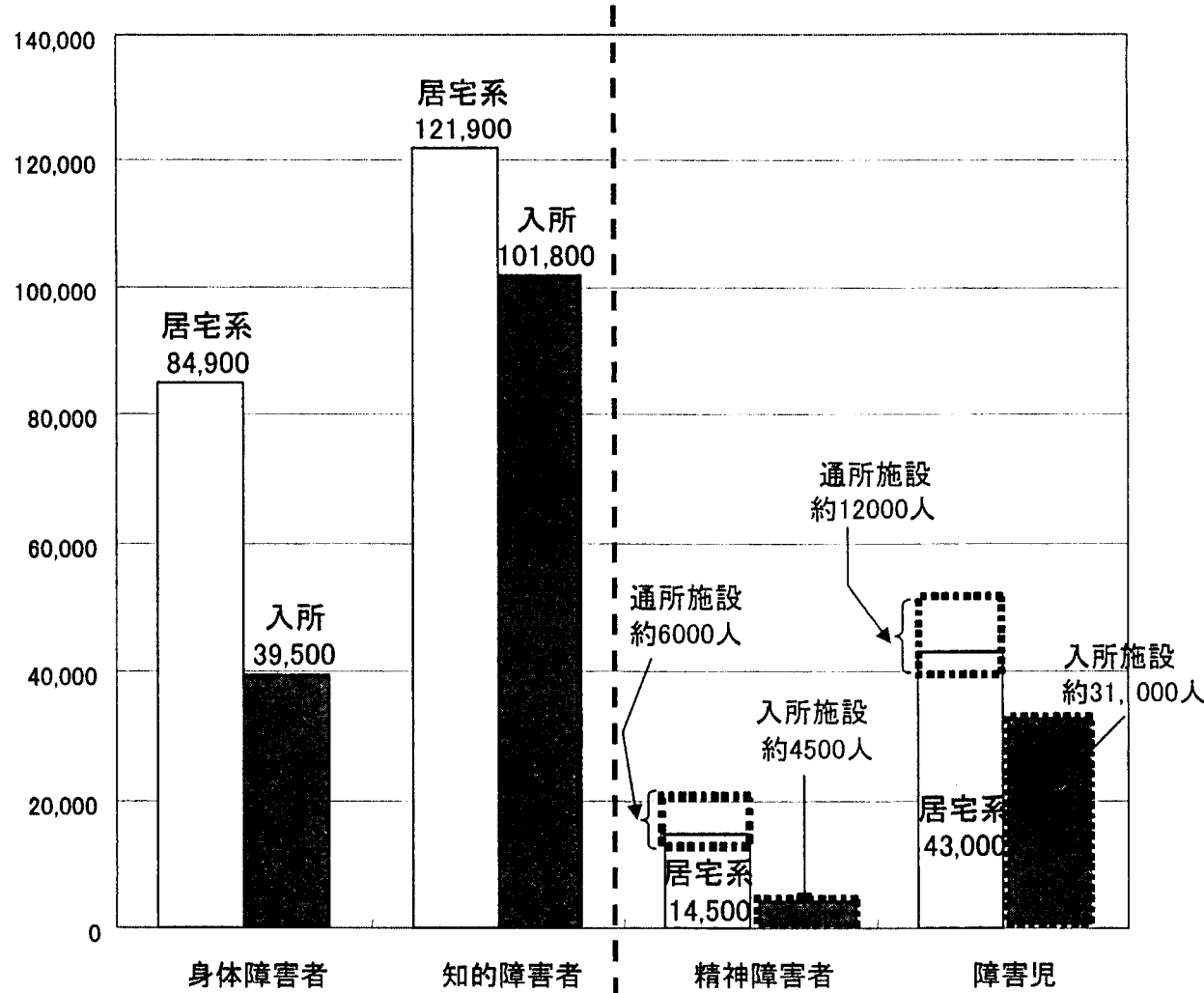
(人)



障害種別ごとの居宅系サービス・入所施設の利用人数の状況

(人)

障害別利用人数

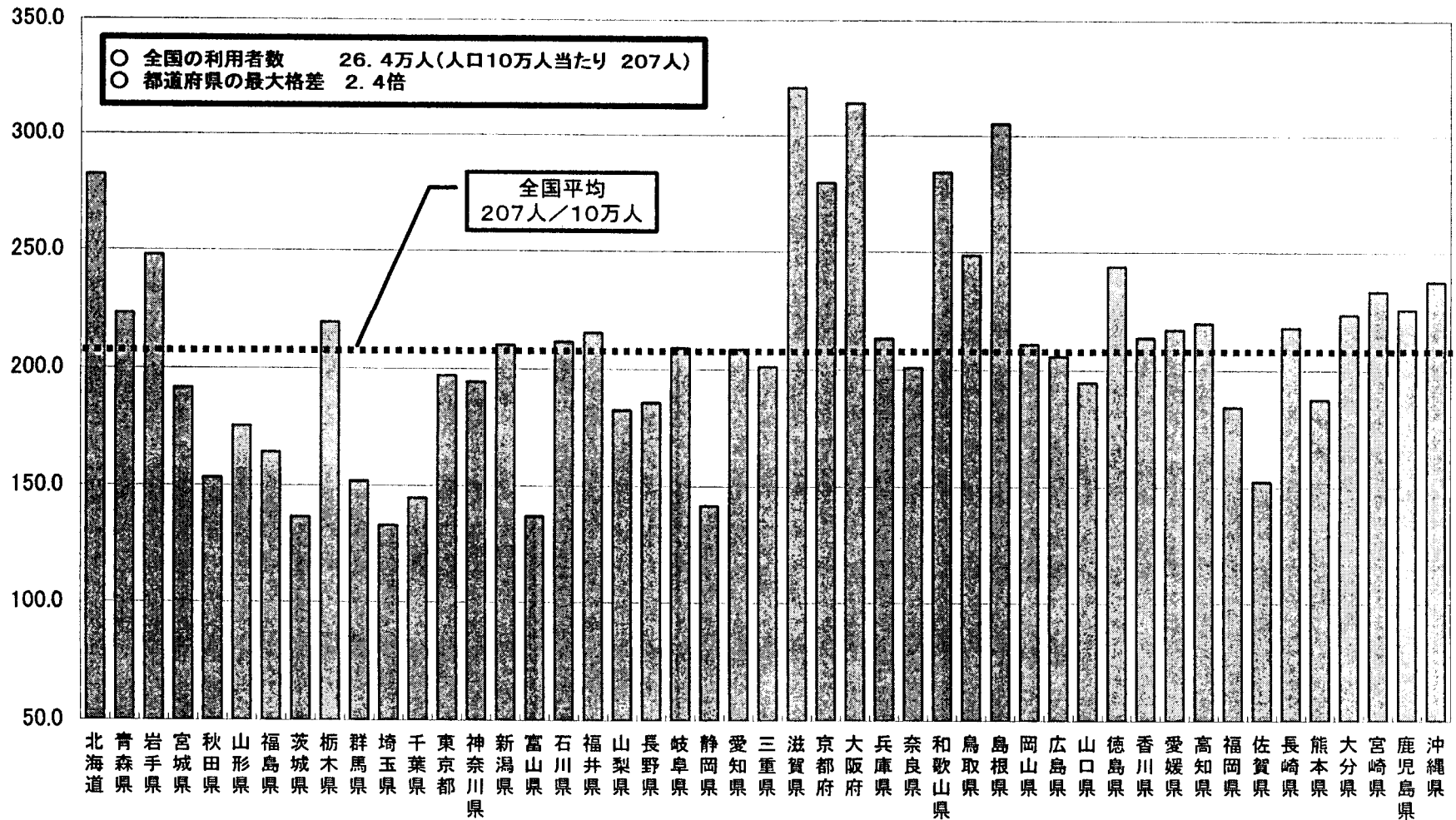


注) 精神障害者及び障害児の通所施設・入所施設については、本調査の対象外であるため、社会福祉施設等調査などの数値を使用した

居宅系サービスの利用者数(都道府県総人口に占める利用者数の割合)

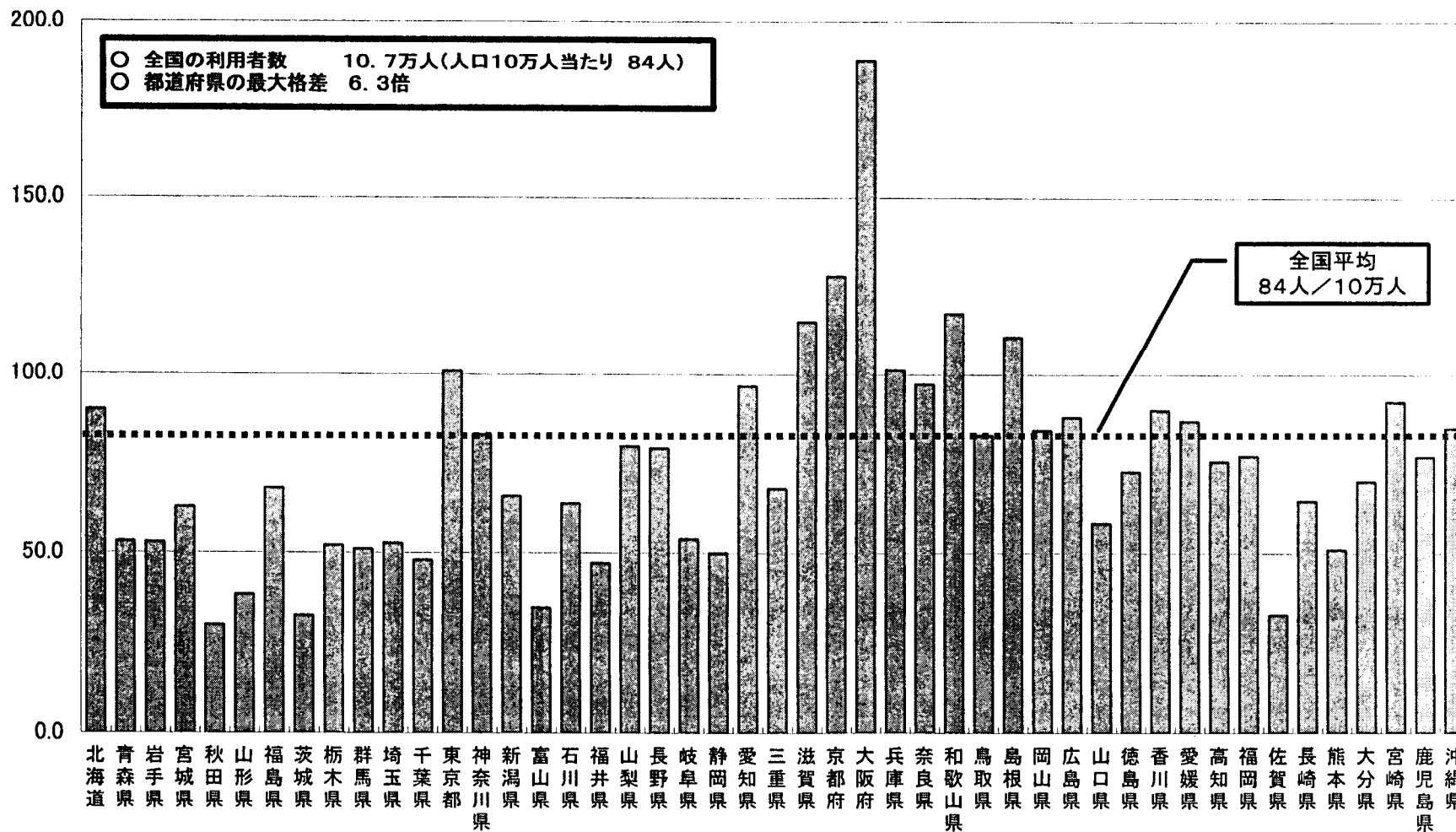
※居宅系サービス：ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイ・グループホーム・通所施設(精神障害者及び障害児の通所施設分は含まれていない)

(人/10万人)



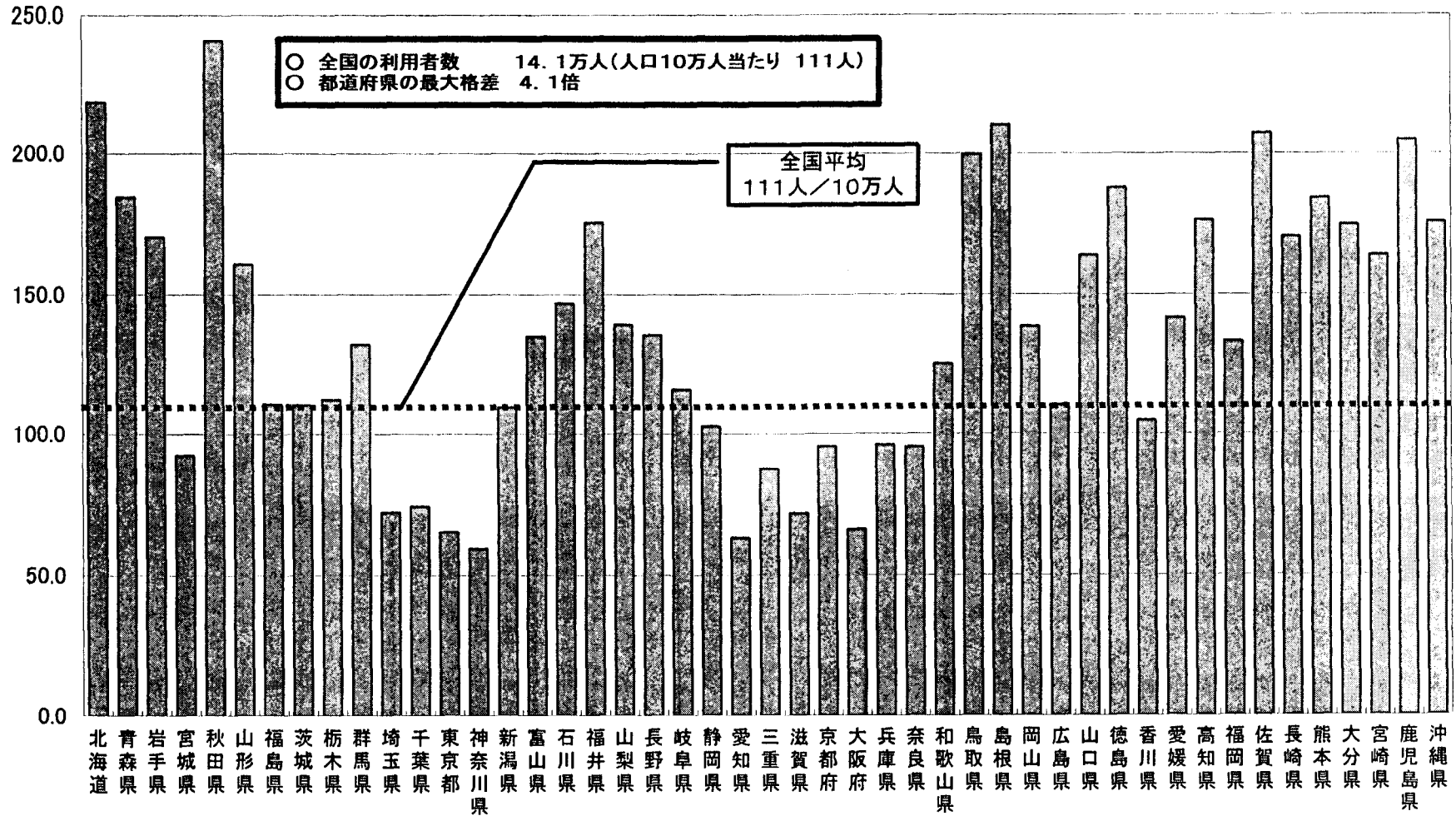
ホームヘルプサービスの利用者数(都道府県総人口に占める利用者数の割合)

(人/10万人)



入所施設の利用者数(都道府県総人口に占める利用者数の割合)

(人/10万人)



※ 利用者数は、施設の所在する都道府県ではなく、支給決定を行った市町村の所在する都道府県に計上